

(第25号) ***相互貸借***

相互貸借 (Interlibrary Loan = ILL) とは、図書館同士が一定のルールにもとづいて、所蔵する資料を互いに利用し合うサービスです。“文献の取り寄せ”とも言い換えられるように、自館にない資料を国内外の図書館を通して入手することができ、本学では年間約 3,800 件の依頼と約 7,000 件の受付を行っています。現在は単行書そのものの現物貸借より、雑誌論文など資料の一部分の複写を提供することが業務の大半を占めています。作業の一連の流れは、

利用者からの依頼 書誌事項の確認 所蔵確認 申込... 受付 複写・現物 送付...
到着資料の確認 依頼者に連絡 会計

となり、迅速な情報収集が要求される医学系の図書館では、常に文献の到着日を意識して業務をこなしています。

書誌事項に不備があると、受付側の手を煩わせることになるので、申込みの際には内容を十分に確認します。年代の新しい部分はデータベースで検索でき、またインターネットで何らかの情報を得ることができですが、古い資料や灰色文献と言われる会議録などは、索引誌や関連文献の引用情報、過去のレファレンスの記録や経験による勘など、あらゆる手段で内容の特定に迫ります。申込者の情報が手がかりとなりますので、根拠となる資料の他に周辺の情報も提供して下さると助かります。所蔵している資料では確認しきれなかった場合、他館に調査依頼をすることになり、その知識の共有も広く相互貸借といえるでしょう。

相互協力サービスは、利用者の権利ではなく、相手館の恩恵によるものであることを心に留めてご利用ください。

図書館トリビア

9月に図書館の利用者を対象にメルマガアンケートの協力をして頂きました。7割を越す人から「そのうち登録したい」との回答を得られましたが、未だ追加登録者はありません！その後、東北大学で開催された医学図書館研究会でメルマガアンケートの分析結果を報告しましたが、登録希望者が増え、そちらの反響の方が大きかったです。学内ではなかなか登録増加に結びつかない当館メルマガの現状です。今後も内容を工夫し、PR活動を活発にし、継続していきたいと思えます。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。